

5044

実体験に学ぶ アグリコロラボいとしま ワークシヨップ

【福岡・糸島】糸島地区の農業者、JA、九州大学、行政機関などで構成する糸島農業産学官連携推進協議会（アグリコロラボいとしま）は、九州大学伊都キャンパスで「入心」ではない家畜伝染病

「地域農業と私たちの生活」をテーマに第3回ワークショップを開いた。宮崎県川南町若者連絡協議会の日高義暢さんが「We Love かわなみ」を新生する川南」と題して、宮崎大学獣医衛生研究室の末吉益雄准教授が「口蹄疫との壮絶な戦い。怒り・不安・苦悩・疲勞」と題して、昨年、宮崎県で起きた口蹄疫についてそれぞれ講演した。

「町の人に口蹄疫を理解してもらおうが大変だった」「殺処分や埋設など、やりがいのない重労働を毎日休み無く続ける」など生々しい話に参加者は声も無く聞き入った。末吉准教授は「危機意識を持ち続けることが大切と」話した。この他、県中央家畜保健衛生所の佐野恭一副所長や糸島市の瀬戸道孝農業振興課長が、防疫対策について報告した。

2011年5月24日

13面

日本農業新聞